

2014 年度後期授業アンケートまとめ

1. アンケート結果の概要

1-1. 実施趣旨と従来との変更点

【授業アンケート実施目的】

- (1)科目担当者が個別に、またはオムニバス科目の担当教員が相互に課題を共有し、授業改善を行うためのデータを得る。
- (2)学部学科としてカリキュラムを改善するとともに、大学として組織的な教育改善に取り組むためのデータを得る。あわせて、教育力の向上を点検するためのデータを得る。
- (3)授業に対する自身の取り組み方について学生の振り返りを促すとともに、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るためのデータを得る。

【従来との変更点】

上記実施目的に大きな変更点はない。

1-2. 調査対象

今回の授業アンケートの調査対象科目は 2014 年度後期および春期集中開講の全科目を対象とした。アンケート回答者は受講登録をしている学部学生とした。大学院生については、各授業担当者により自由記述のみの回答用紙を配布回収し、集計・統計等には反映させないこととした。

1-3. 調査期間

- 【後 期】 2014 年 12 月 1 日(月) ～ 2015 年 1 月 31 日(土)
【春期集中】 2015 年 2 月 2 日(月) ～ 2 月 7 日(土)

授業時間を 15 分ほど利用し、学生所有の携帯電話、スマートフォン等より、Web 上での回答とした。授業内に回答できない学生については、当日中に PC 教室等から回答するよう指示した。なお、回収率(回答者延数/受講者延数)は 53.16%であった。

1-4. 調査設計

調査項目の基本構造については、2013 年度と同じ内容とした。

- (1) 各授業の教育目標についての項目/全科目共通の3項目と各授業で指定した項目
- (2) 授業についての自由記述/全科目共通の4項目

授業科目単位の集計結果および学生の自由記述は、教学向上を目的として、授業担当者(オムニバス等の科目については担当者全員)が閲覧し、教員コメントを Web 上から入力する方式とした。なお、データ分析、まとめは授業科目単位で実施し、科目群の加重平均を出すこととした。

2. アンケート結果の特徴と傾向

集計は「基礎教育科目群」「教養教育科目群」「資格・キャリア科目群」、および各学科(一部コース)の「専門教育科目群」ごとに行い、加重平均と標準偏差を算出。それぞれ、集計表とグラフを作成した。集計にあたって平均 4.0 以上を青色、3.7 未満を黄色に塗り、前年同期比(13 年度後期)の増減値および配当年次科目毎の加重平均を記した。なお、全①-2 の設問は集計から除いている。

2-1. 科目群別の分析 別紙資料:P1~16

【全体】

- 全体のおよそ3分の2の項目で、昨年同期に比べて数値が向上している。
- 一方、「全①事前事後学習の徹底」が依然として低く、課題が残る。
4 年次科目において事前事後学習の定着が確認できるが、とりわけ低年次に課題が大きい。
- 全体のおよそ6割の項目で平均 4.2 ポイントを上回っている。

【基礎教育科目群】

「教⑤課題解決能力の獲得」「教⑥論理的思考力の獲得」が昨年に比べて改善し、3.7 ポイントを上回った。その他の項目についてもおおそ昨年と同程度で推移している。一方、「全①事前事後学習の徹底」は昨年より-0.03 ポイントと減少し、同科目群で最も低い値となっている。予習復習の定着が引き続き課題である。

【教養教育科目群】

すべての項目において前年度を上回った。「全①事前事後学習の徹底」は+0.17 ポイントの改善はあるものの、平均 3.37 ポイントに留まり、特に2 年次配当科目が 3.20 ポイントと非常に低く、課題である。一方、その他の項目については全体および各年度とも、3.7 ポイントを上回り、堅調である。

【資格・キャリア科目群】

「全②授業への積極的参加」「教①知識・教養の修得」「教②勉強していく態度・心構えの修得」「教③価値形成の実現」の4 項目で小幅な減少があったものの、いずれも3.7 ポイントを上回っている。特に2・3 年次開講の科目が該当した「教④異文化理解力の獲得」は、4.49 ポイント(+0.42 ポイント)と、非常に高い結果が確認される。なお、「全①事前事後学習の徹底」は3.42 ポイントに留まっているが、3・4 年次配当の科目は3.7 ポイントを上回り、事前事後学習の定着が確認される。低年次科目における対策が必要である。

【日本語日本文学科 日本語日本文学コース科目群】

14 項目中10 項目で-0.02~-0.15 ポイントの減少があったものの、全体平均3.96 ポイントと堅調な結果が出ている。一方、「全①事前事後学習の徹底」は、+0.07 ポイントの改善はあるが、4 年次配当科目を除いて3.7 ポイントを下回り、課題が確認できる。

【日本語日本文学科 書道コース科目群】

15 項目中 13 項目が昨年より改善しており、「全①事前事後学習の徹底」を含むすべての項目で 4.0 ポイントを上回った。うち6 項目は昨年同期 4.0 ポイント未満からの改善であり、全体的に学生自身の取り組みや到達度が向上している状況が確認できる。

【歴史学科科目群】

「全①事前事後学習の徹底」が3.56 ポイント(-0.25 ポイント)と課題が見られた。事前事後学習については、特に1・2 年次配当科目において対策が必要である。その他の項目はおおむね堅調な結果ではあるが、昨年と比較すると 13 項目中9 項目で-0.04~-0.16 ポイント減少しており、改善が必要である。

【文化財学科・歴史遺産学科科目群】

前年に引き続き、「全①事前事後学習の徹底」に課題がある。その他の項目についてはおおむね昨年同様、いずれも 3.7 ポイントを上回っており堅調である。

【児童教育学科科目群】

14 項目中 12 項目で平均 4.0 ポイントを上回り、高い水準である。ただし、「全①事前事後学習の徹底」は-0.11 ポイント(3.39 ポイント)と、前年以上に課題が大きい。特に1・3年次配当科目を中心に対策が必要である。

【英語コミュニケーション学科科目群】

ほぼ前年同様の傾向で、16 項目中1項目を除いて 3.7 ポイント以上の高い結果が出ている。また、「全①事前事後学習の徹底」も平均 3.81 ポイント(+0.08)で、かつ全学年で 3.7 ポイント以上と、他の科目群と比べても高い結果が確認できる。

【現代マネジメント学科 現代マネジメントコース・経営学系科目群】

ほぼ前年同様の傾向で、「全①事前事後学習の徹底」(3.56 ポイント)、「教③価値形成の実現」(3.65 ポイント)、「マ⑤マネジメント手法、リサーチ方法の体得」(3.69 ポイント)が 3.7 ポイントを下回った。なお、事前事後学習は1・2年次配当の科目で特に対策が必要である。

【現代マネジメント学科 救急救命コース科目群】

19 項目中 14 項目で 4.0 ポイントを上回り、かつすべての項目で 3.7 ポイントを上回り、高い結果が確認された。特に「教③価値形成の実現」「救③論理的思考力・コミュニケーション能力の修得」「救⑥公務員試験・救急救命士国家試験に合格するための力の修得」で+0.24~0.64 ポイントの向上が見られた。

【都市環境デザイン学科科目群】

「全①事前事後学習の徹底」(3.51 ポイント)が昨年同様、課題であり、3年次配当の科目を除く幅広い学年で対策が必要である。その他の項目はいずれも 3.7 ポイントを上回っており、高い水準である。

【看護学科科目群】

一部に減少した項目は確認されるが、14 項目中 13 項目が 4.0 ポイントを上回り、学年によるばらつきも少なく、高い水準である。事前事後学習についても1年次科目より定着が確認される。

【理学療法学科科目群】

12 項目中8項目で昨年より減少が確認された。特に「全①事前事後学習の徹底」(-0.15 ポイント)、「全②授業への積極的参加」(-0.24 ポイント)、「教①知識・教養の修得」(-0.20)、「教②勉強していく態度・心構えの修得」(-0.17)、「教⑦コミュニケーション能力の獲得」(-0.20 ポイント)、「理②基本的知識の修得」(-0.16 ポイント)の減少幅が大きい。また、「全①事前事後学習の徹底」(3.34 ポイント)、「教④異文化理解力の獲得」(3.28 ポイント)で 3.7 ポイントを大きく下回り、改善が必要である。

【心理学科科目群】

16 項目中 10 項目で減少が見られた。特に「教④異文化理解力の獲得」(3.62 ポイント)、「心⑥心理学と医学・文化・芸術・哲学等との包括的な実践」(3.49 ポイント)で 3.7 ポイントを下回る減少が確認される。なお、「全①事前事後学習の徹底」は、昨年より改善が見られるものの(+0.09 ポイント)、3.12 ポイントと依然として非常に低い結果であり、すべての学年を通じて対策が必要である。

【参考資料】事前事後学習時間についての集計表 別紙資料:P17~18

全②-2 あなたはこの授業について1回あたり平均で何時間学習しましたか。

3. 基本データ

3-1. 基本データ

時間割開講曜日・開講時限、科目名・クラス、担当者データを選択し、授業登録学生のみ回答できるシステムとした。

3-2. 授業についての選択項目

教育目標に沿って授業科目毎に設定された項目について、
[1: とてもそう思う 2: まあそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない 5: まったくそう思わない]のうち、もっともよくあてはまると思うもの一つのみ回答させた。

3-3. 授業についての自由記述項目

選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の4つの質問を設定した。

- ① この授業のどの点がよかったですか。
- ② この授業のどの点がよくなかったですか。
- ③ よくなかった点を改善するためにはどうしたらよいか。
- ④ その他この授業で感じたことを自由に記入してください。

3-4. 回答・集計方法

(回答) Web 上で ID/PW の設定を行い、授業登録者のみが該当授業の回答をするように制御した。

(集計) 集計後、授業担当教員が担当科目のアンケート結果を Web 上で閲覧し、コメントや受講者へのメッセージを入力した。オムニバス科目等(複数担当者科目)については、該当教員全員が閲覧でき、コメントを入力できるシステムとした。

3-5. 回答者のプロフィール

アンケート対象科目の受講登録者総数と、有効回答数および有効回収率は下表のとおりである。

【回収率】

【実施講義数】

適用	
登録者数	28,367
有効回答数	15,081
有効回収率	53.16%

適用		
回答対象講義数	1,094	(3人以上の受講生)
集計対象回答講義数	728	(3人以上の回答数)
実施講義率	66.5%	

(参考: 14 前期 55.47% 13 後期 50.81% 前期 63.75% 12 前期 76.95% 後期 79.81%)

* (有効回答数) = 期間内回答者数

* (有効回収率) = (有効回答数) / (登録者数)

【クラスサイズ別回収率】

回収率 クラスサイズ	100-91%	90-81%	80-71%	70-61%	60-51%	50-41%	40-31%	30-0%	合計
1-10	25	12	20	9	10	14	7	5	102
11-20	14	15	28	17	23	17	13	18	145
21-30	8	27	22	25	16	13	6	26	143
31-40	5	14	17	15	14	13	6	23	107
41-50	7	4	11	7	5	7	4	6	51
51-60	5	2	4	4	9	2	0	11	37
61-70	1	1	3	2	5	3	4	7	26
71-100	7	5	5	10	18	7	6	18	76
101-150	0	1	1	6	8	4	1	8	29
151-	0	0	1	2	3	1	2	3	12
合計	72	81	112	97	111	81	49	125	728

